

2020年度 決算説明資料

2021年5月11日

「快適」をあなたの^{いま}の現在と未来へ
 **川重冷熱工業株式会社**

目次

I. 2020年度 決算概要

- ・ 2020年度 決算実績 サマリー
- ・ 2020年度 損益計算書
- ・ 事業別分析（空調事業）
- ・ 事業別分析（ボイラ事業）
- ・ 2020年度 貸借対照表

II. 2021年度の取り組み

- ・ 新製品情報（水素専焼小型貫流ボイラ）
- ・ 事業別計画（空調事業）
- ・ 事業別計画（ボイラ事業）
- ・ 事業別計画（メンテナンス工事）

III. 2021年度の見通し

- ・ 業績予想

IV. 参考資料

- ・ 売上高の推移（ヒストリカル・データ）
- ・ 利益の推移（ヒストリカル・データ）

2020年度 決算概要

2020年度 決算実績 サマリー

単位:百万円

	2019年度	2020年度	増減
受注高	18,016	19,838	+1,822
売上高	17,564	18,159	+594
営業利益	341	539	+198
経常利益	337	538	+201
税前ROIC	5.7%	8.7%	3.0%
経常利益率	1.9%	3.0%	1.1%

・受注高
 新型コロナウイルス感染症拡大による影響がみられましたが、空調機器の大口の付帯工事案件やボイラ機器の大口案件が増加したため、前年度を上回る受注高となりました。

・売上高
 ボイラ事業の保守点検・改修改造工事（以下、メンテナンス工事）が減少したものの、空調機器の大口の付帯工事案件の増加があったため、前年度を上回る売上高となりました。

・利益
 売上高の増加に加え、販売費用の低減等により、前年度から増益となりました。

2020年度 損益計算書

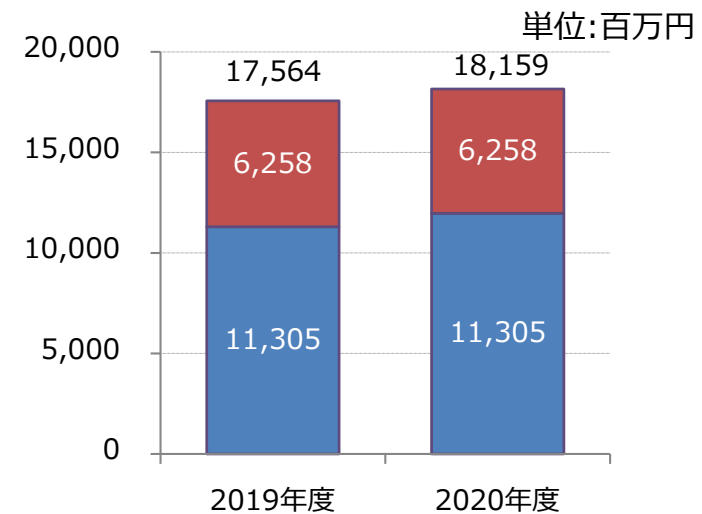
単位:百万円

	2019年度	2020年度	増減
売上高	17,564	18,159	+594
売上総利益	4,673	4,770	+97
販売費及び一般管理費	4,331	4,230	△100
営業利益	341	539	+198
営業外収益	10	11	+0
営業外費用	14	12	△2
経常利益	337	538	+201
税引前当期純利益	337	538	+201
法人税等	88	142	+54
当期純利益	249	396	+146

売上高

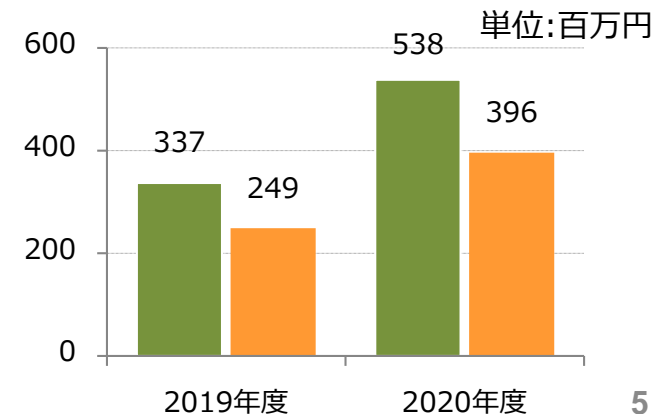
空調事業

ボイラ事業



経常利益

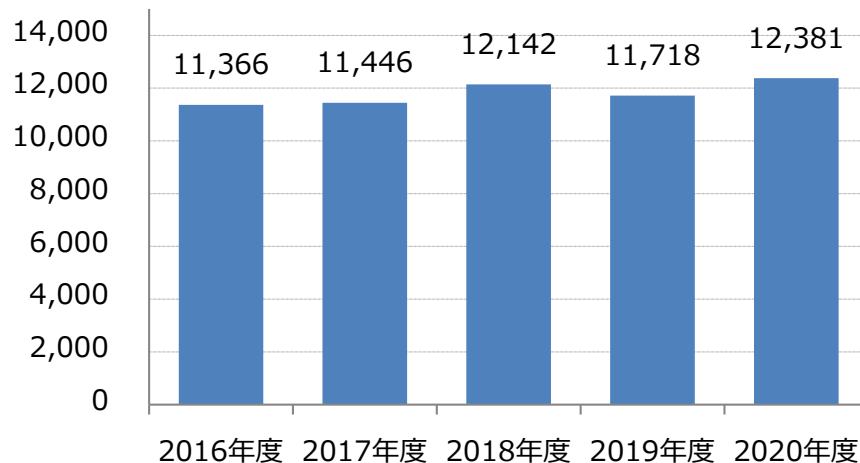
当期純利益



事業別分析（空調事業）

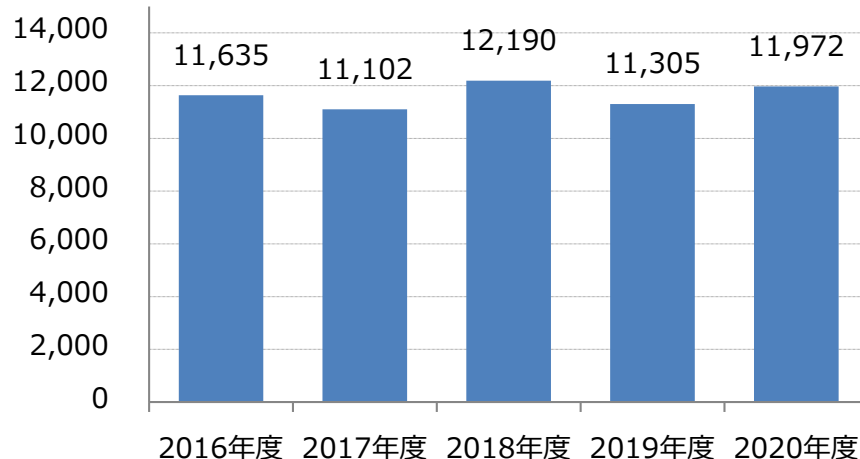
<受注高>

単位:百万円



<売上高>

単位:百万円



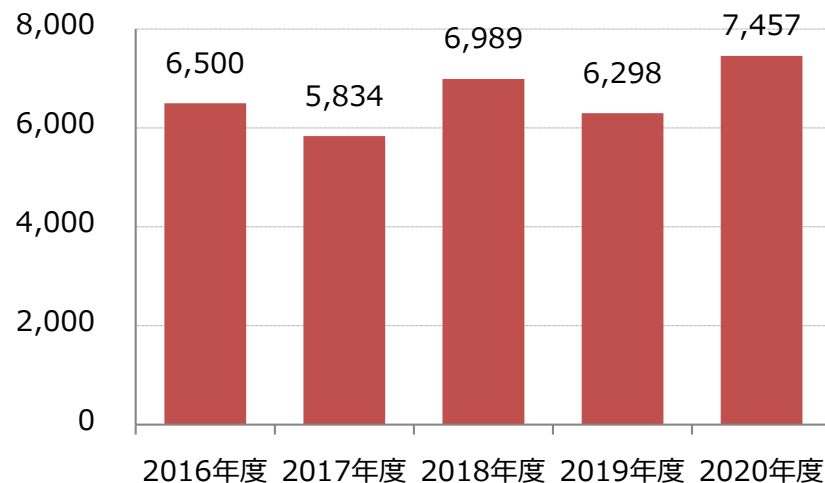
<受注高・売上高>

機器が堅調に推移していることに加え、近年当社が力を入れている付帯設備工事案件に大口工事があったこと等により、前年度を上回りました。

事業別分析（ボイラ事業）

<受注高>

単位:百万円

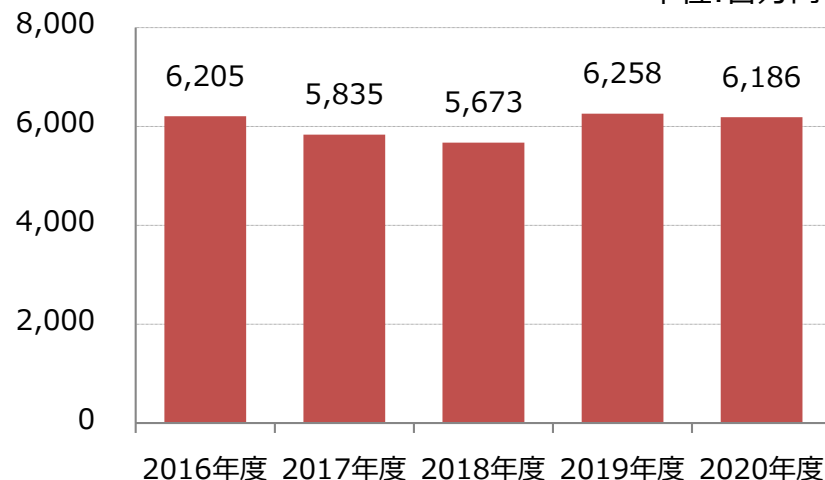


<受注高>

新型コロナウイルス感染症の影響等により、メンテナンス工事が減少したものの、機器本体では貫流ボイラや排熱ボイラ等の大口案件が増加したため、前年度を上回りました。

<売上高>

単位:百万円



<売上高>

メンテナンス工事が減少したため、前年度を下回りました。

2020年度 貸借対照表

単位:百万円

	2019年度	2020年度		2019年度	2020年度
流動資産	10,093	11,675	流動負債	5,007	6,025
現金及び預金	5	5	仕入債務	3,175	3,576
売上債権	5,996	7,331	受注損失引当金	352	544
棚卸資産	2,192	2,337	その他流動負債	1,479	1,905
短期貸付金	1,810	1,909	固定負債	3,474	3,760
その他流動資産	87	91	負債合計	8,482	9,786
固定資産	4,276	4,300	株主資本	5,850	6,145
有形固定資産	2,386	2,263	その他純資産	37	43
無形固定資産	292	261	純資産合計	5,888	6,189
投資その他の資産	1,597	1,774	負債・純資産合計	14,370	15,975
資産合計	14,370	15,975			

2021年度の 取り組み

新製品情報（水素専焼小型貫流ボイラ）

当社は2021年5月より、燃焼時にCO₂を排出しない「ドライ式低NO_x水素専焼小型貫流ボイラ」を販売開始いたしました。本製品は副生水素を燃料とするボイラの製造で培った技術と川崎重工の持つ水素関連のノウハウを組み合わせ開発した製品です。

川崎重工グループは、将来の水素エネルギーの普及を見据え、水素サプライチェーンに必要なインフラ技術の開発・製品化に力をいれております。

今後は、吸収冷温水機への適用も図り、脱炭素社会への実現に貢献してまいります。



WILLHEAT



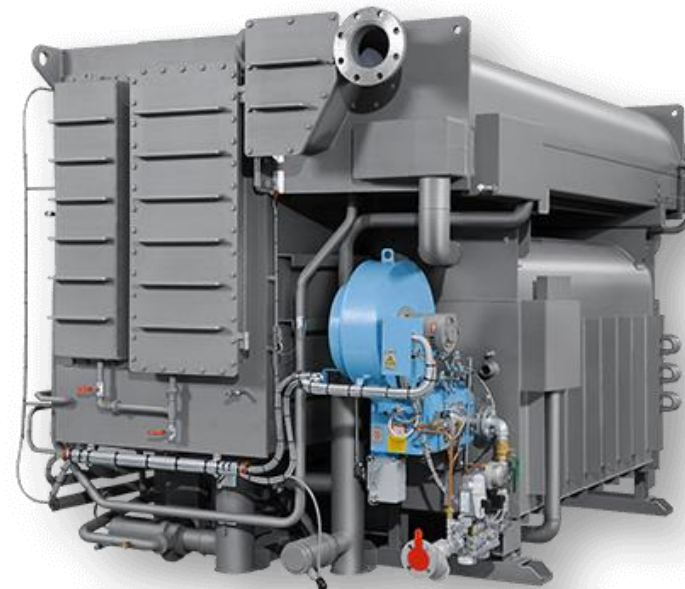
ウイルヒート

事業別計画（空調事業）

吸収冷温水機を持つ省電力性や、熱源に廃熱や再生可能エネルギーを有効活用できる特性を活かし、機器単体のみでなく、空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に引き続き取り組んでまいります。

また、お客様の様々な稼働条件における省エネ効果の実現（定格効率及び期間効率）や、空調システム全体での省エネ制御（システム効率）への要求等に対し、最適な省エネ技術でお応えしてまいります。

Efficio



事業別計画（ボイラ事業）

貫流ボイラのラインナップ拡充を推進し、製品競争力強化により、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応え出来るよう取り組んでまいります。

また「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン、ガスエンジンを中心にコージェネ用排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。



ガスタービン用排熱ボイラ（RGB）

事業別計画（ボイラ事業/海外）

海外事業について、2021年4月よりボイラ効率99%の小型貫流ボイラ「ウィルヒート」・大型ボイラ「イフリート」の海外販売を開始いたしました。

今後も海外事業での製品ラインナップを強化し、マレーシアやタイを中心とした東南アジア市場で、事業拡大に努めてまいります。

海外においても「機器+薬品+保証」のセット販売を推進しストックビジネスの基盤強化に取り組んでまいります。

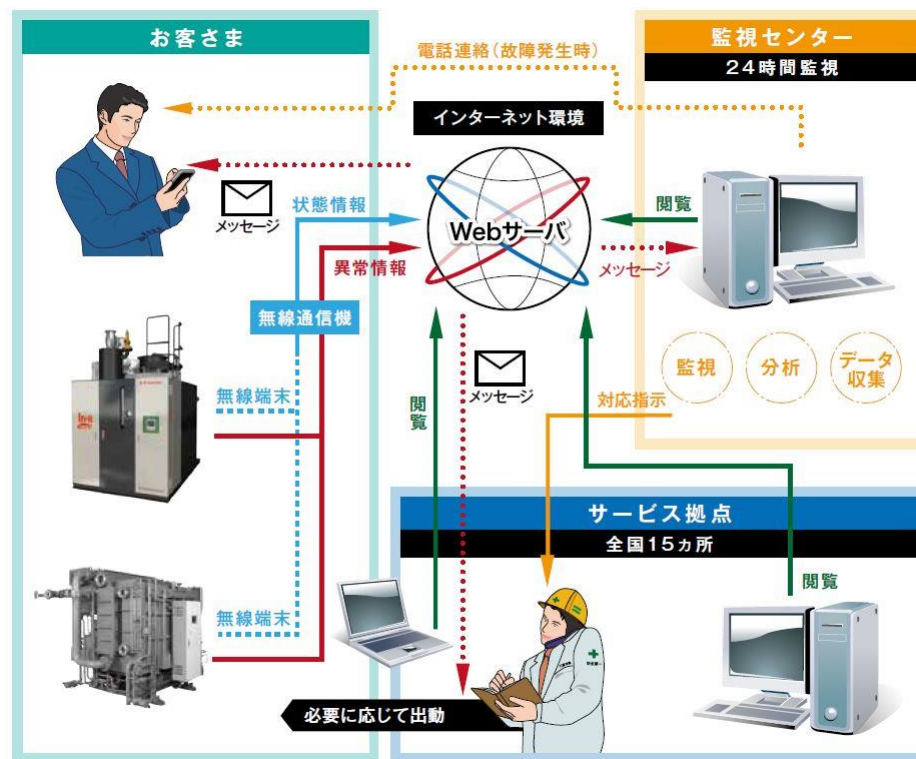


Ifrit Fuerza

事業別計画（メンテナンス工事）

当社の空調・ボイラ機器本体の高信頼性、耐久性の特長を活かした製品保証付きメンテナンス契約の提案活動を積極的に進め、ストックビジネスの強化に取り組んでまいります。

また、次世代遠隔監視システム「テレメンテV3」を活用し、IoTによる故障発生未然防止や運転データ分析による省エネ提案等、お客様に更に安心して当社製品をご使用いただけるよう努めてまいります。



テレメンテ概要図

2021年度の 見通し

業績予想

当社は2021年5月11日開催の取締役会において、川崎重工業株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（効力発生日：2021年8月1日）を行うことを決議しております。

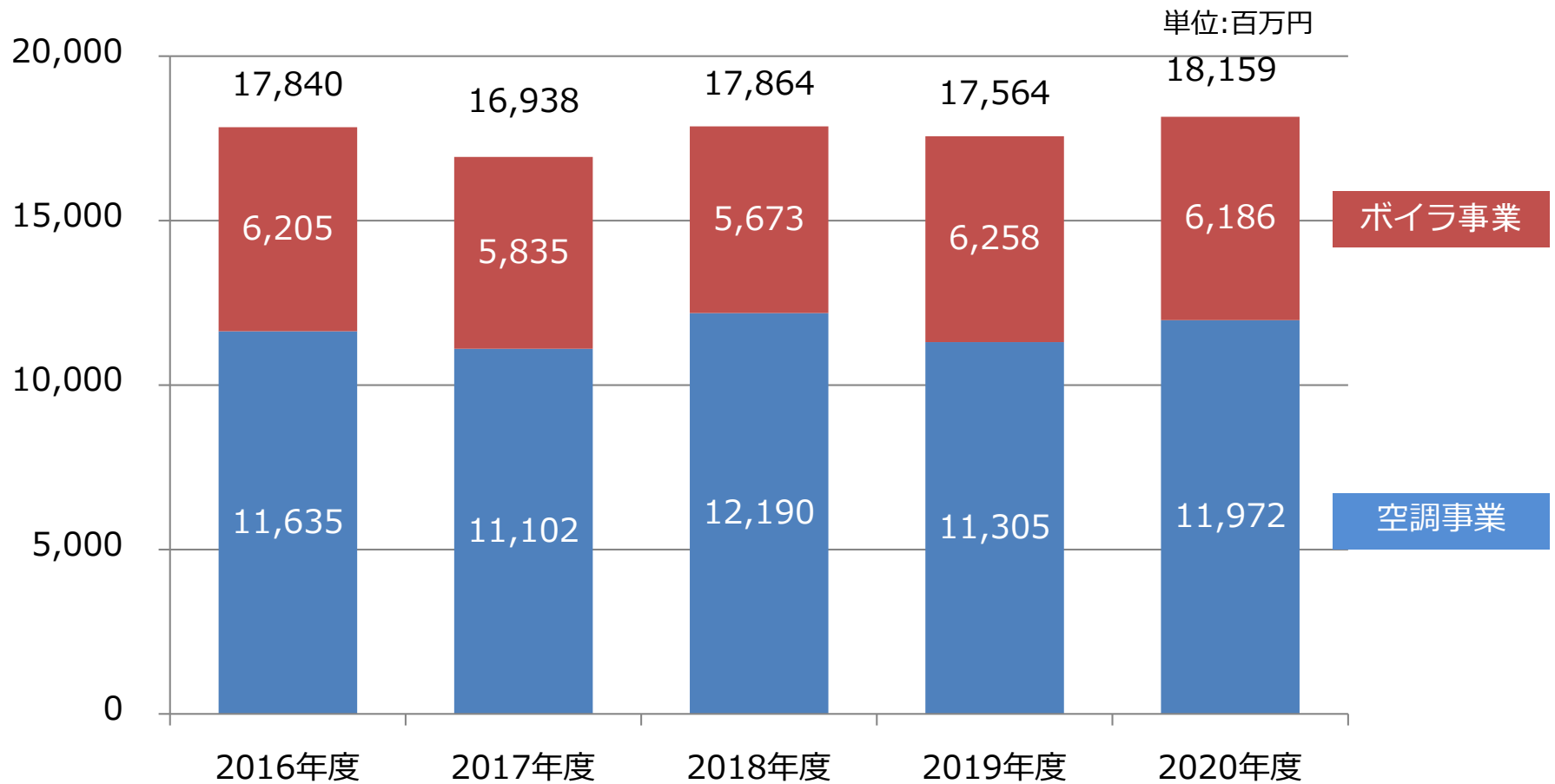
なお、本株式交換は2021年6月25日開催予定の第50期定時株主総会の承認を前提としております。

これにより、当社の普通株式は、2021年7月29日をもって上場廃止となる予定であるため、2022年3月期の業績予想の発表を控えさせていただきます。

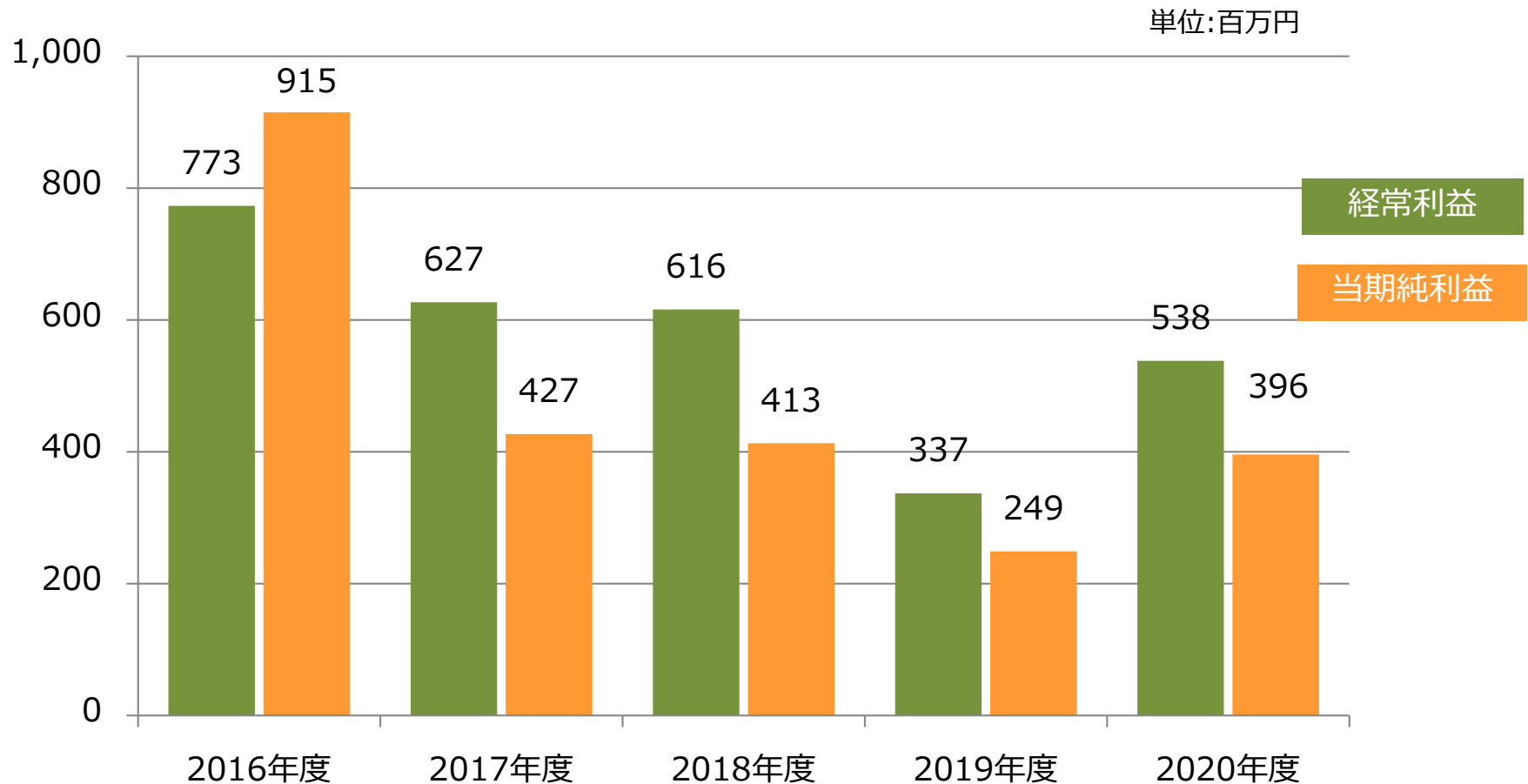
株式交換に関する内容につきましては、2021年5月11日公表の「川崎重工業株式会社による川重冷熱工業株式会社の簡易株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」をご参照ください。

参考資料

売上高の推移（ヒストリカル・データ）



利益の推移（ヒストリカル・データ）



本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ



川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111